萩ジオパーク
推進協議会だより vol.86

萩ジオパーク推進協議会
｜2022年4月28日発行｜

〒758-0041
山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階
0838-21-7765　0838-25-7767
geo@city.hagi.lg.jp
https://hagi-geopark.jp
https://www.facebook.com/HagiGeoProject

2022 START！

2021年度の取り組みを一部紹介。2022年度も盛りだくさんです。

4月1日、萩ジオパーク推進協議会事務局では1名のメンバー交代がありましたが、昨年同様5名体制で新年度が始まりました。今年度は2018年9月の新規認定から4年を経過し、基本計画・実行計画の見直しを踏まえ、これまで以上に萩ジオパークパートナーやジオガイドの皆様、会員の皆様とともに試行錯誤を重ねてまいります。
また、秋には再認定審査が行われます。再認定審査では審査員によるこの4年間の取組状況の確認が行われ、活動の結果生じた新たな課題を現地と審査員が共有し、活動をよりよくするために、どうしたらいいかを一緒に考えます。総会を経て本格始動となりますが、今年度もよろしくお願いいたします。　（事務局長　伊藤靖子）

4月からジオパーク推進課に配属になりました、小野正嗣と申します。以前は課税課で仕事をしていました。これまでの業務とは全く異なるものなので、業務においてもジオパーク活動についても新しい発見ばかりです。
これまでジオパーク活動がさかんな弥富地区にいたこともあるのですが、まだまだ知らないことがたくさんあり、勉強中です。これから皆様と一緒にジオパーク活動に取り組み、萩ジオパークだからこそできる体験を提供できるよう尽力してまいりますのでよろしくお願いいたします。　（新メンバー　小野正嗣）

講 座 開 催 ！

ここ2年間はコロナ禍で、なかなか対面での講座実施ができませんでした。
今年度は感染症対策に留意しながら、各種講座を開催予定です。

地球を食べる食堂

～大地の営み×生産者の知恵と技×料理人の知恵と技～

食を切り口に「大地と人のつながり」に触れ、大地と向き合うことの大切さを学ぶ体験型の食育講座です。
毎回1つの特産食材をテーマに①生産現場の訪問⇒②大地の絶景ポイント訪問⇒③調理体験⇒④実食という流れで、美味しさの秘密をとことん紐解きます。
前期は、第1回『阿武火山群と無角和種』（5月7日）、第2回「萩三角州と焼き抜き蒲鉾」（6月4日）、第3回『須佐ホルンフェルスとケンサキイカ』（7月17日）を予定しています。

大地の遊び人養成講座

～大地と遊び、地球に寄り添う～

大地と人のつながりを実感する力を養う体験型講座です。
自然の中に身を置き、周囲を観察しながら、最小限の道具で五感を使って遊んだり火を起こして旬のものを調理して食べたりする体験を通して、自身も自然の一部であることを再認識し、日々の暮らしから開発活動の在り方までを考え直すきっかけとなることでしょう。
初回は7月30月の開催を予定しています。

萩ジオアカデミー

～大地に触れよう。地球を知ろう～

地球科学の研究者から地球のしくみや大地の成り立ちを学ぶ市民・町民向け学習講座です。
今年度はいつでもどこでも学べる動画視聴編「萩ジオeアカデミー」と、研究者と一緒に現地を巡り、大地に触れて地球の基礎を学ぶフィールド編を3回予定しています。
初回は9月10日、モドロ岬の見学を予定しています。

※講座内容の詳細や申し込み方法は、推進協議会だよりでもお知らせしますが、最新情報はホームページやSNSをご確認ください。

令和4年度　萩市ジオパーク活動補助金のお知らせ

萩市は、地域の発展を目指しつつ、大地の遺産を守り、学び、生かすための主体的で特徴のあるジオパーク活動を行う市民活動団体、町内会や自治会などの地域住民組織に対し、萩市ジオパーク活動補助金（上限25万円）を交付します。補助対象期間は交付決定日から令和5年3月17日（金）までで、募集期間は5月20日（金）までとなっています。
多くの皆さんがジオパークを通じた様々な活動を展開されることを期待しています。
補助対象事業や、補助対象経費など募集に関する詳しい情報や申請書類等のダウンロードは萩市公式ホームページへアクセスしてください。

令和３年度　ジオパーク活動補助金交付団体の活動報告

昨年度の補助金交付団体は山口県立萩商工高等学校と見島と共に生きる会の２団体でした。

① 山口県立萩商工高等学校

事業名：「地球目線で萩を『守る』IoTを活用した萩ジオパーク主要な見どころ来訪人数調査事業」

事業概要：畳ヶ淵、ホルンフェルスに無人人数カウンターを設置し、人数調査を行い、その成果を「ジオパークフェア2022」で発表しました。

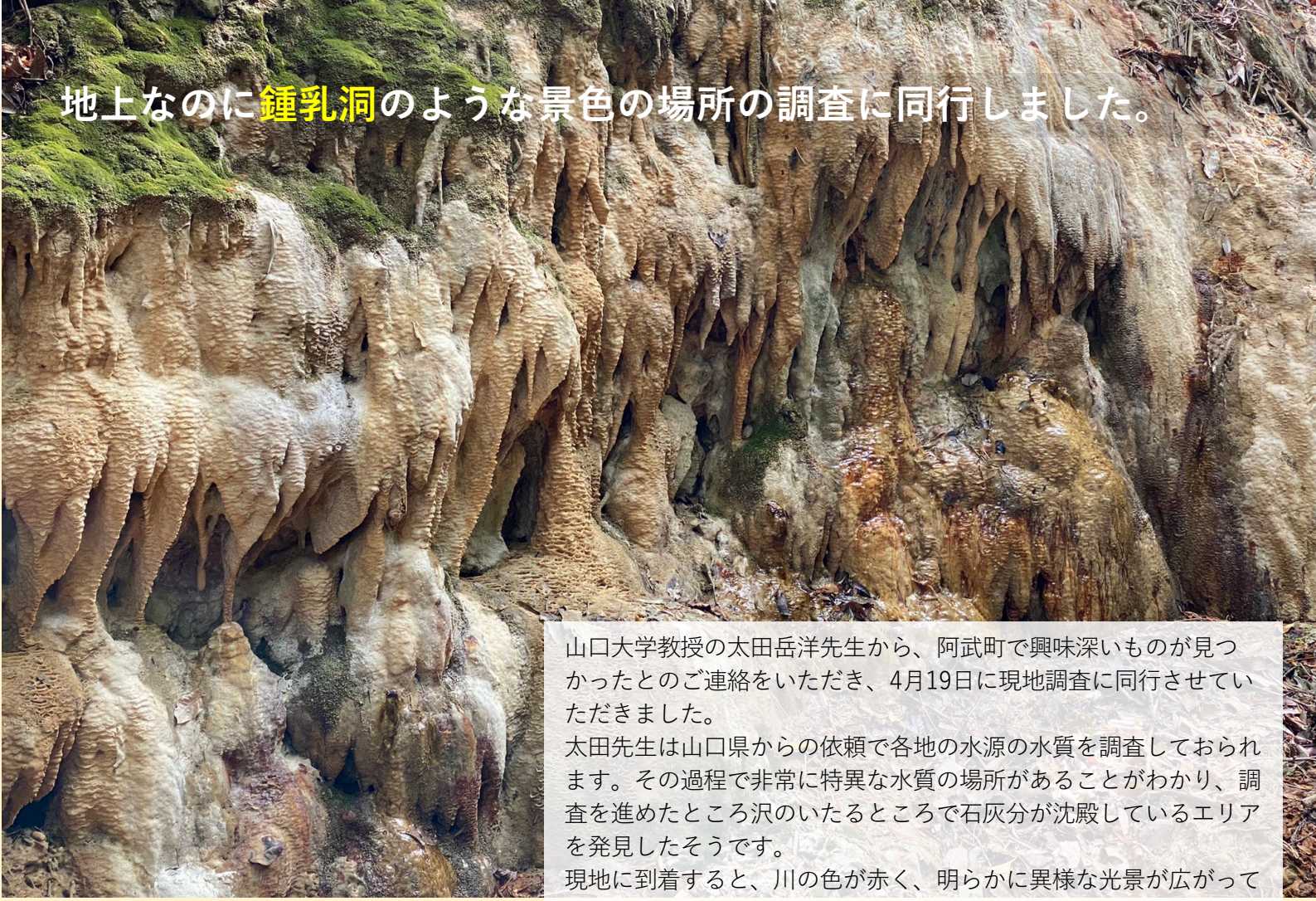
交付額：250,000円

② 見島と共に生きる会

事業名：「見島・八町八反プロジェクト－千年の田んぼ・八町八反の成り立ちを探る！－」

事業概要：11 月6、7 日、2月26、27日に八町八反の古い溜池の調査を行い、見島小中学校の児童・生徒を対象に10 月30 日「八町八反ミニツアー」を開催しました。また、それらの成果を「ジオパークフェア2022」で発表しました。

交付額：224,000円



地上なのに鍾乳洞のような景色の場所の調査に同行しました。

山口大学教授の太田岳洋先生から、阿武町で興味深いものが見つかったとのご連絡をいただき、4月19日に現地調査に同行させていただきました。
太田先生は山口県からの依頼で各地の水源の水質を調査しておられます。その過程で非常に特異な水質の場所があることがわかり、調査を進めたところ沢のいたるところで石灰分が沈殿しているエリアを発見したそうです。
現地に到着すると、川の色が赤く、明らかに異様な光景が広がっていました。この川の水には鉄分が多く含まれることから、鉄バクテリアと呼ばれるバクテリアが繁殖しており、赤色の沈殿物はその特徴だということです。川岸には秋芳洞の鍾乳石のような景色が。岩の割れ目から滴り落ちる水に石灰分が多く含まれ、それが沈殿することでできたものだそうです。特異な水質は、周囲の至る所から染み出すこれらの水が原因でした。調査の都合上、場所等の詳細はまだお伝えできませんが、夏頃には第一報として論文を発表する予定とのことなので、その際にはもう少し詳しい情報をお伝えできると思います。どうやら秋芳洞とは全く違う仕組みでできたもののようですよ…。また、学生さんがこれから2年間かけて研究することも決まっているそうです。これらの水がどこからどのようにしてもたらされたものなのか、解明されるのが楽しみですね。

5月の予定

● **地球を食べる食堂2022＃01「阿武火山群と無角和種」**　5月7日（土）11:30～15:00　集合場所：道の駅阿武町　内容：阿武町で飼育されている"無角和種"をテーマに、大地の視点、生産者の視点、料理人の視点から現地を巡り、味わう　主催・問合せ：萩ジオパーク推進協議会（0838-21-7765）

○ **geoとも（萩ジオ友の会）定例会「ジオ探訪」** 5月21日（土）　内容：大島1周クルージング　主催・問い合わせ：geoとも　桂（0838-21-7173）、中西（080-8747-9383）

● **萩ジオパーク推進協議会定期総会**　5月19日（木）13:30～15:00　場所：萩博物館講座室　内容：令和3年度事業報告・会計報告・監査報告、令和4年度事業計画・予算他　主催：萩ジオパーク推進協議会

○ **第45回日本ジオパーク委員会**　5月21日（土）11:00～12:15　場所：千葉市幕張メッセ　内容：日本ジオパークネットワーク新規認定「公開プレゼンテーション」

○ **日本地球惑星科学連合2022年大会・パブリックセッション**　5月22日（日）　場所：千葉市幕張メッセ（ハイブリッド）　詳しくは大会HP（https://www.jpgu.org/meeting_j2022/）を参照